

自動車整備業における交通事故（道路）災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	18～19	自動車が側道より右折しようとした所、右側から来た車両と衝突した。自社のレンタカーを引き取りに行き帰社する途中での事故である。	29～9	1
2	14～15	自動車整備の為、車両を運転して道路を走行していた。交差点で前方の車両が赤信号の為停車した。本人の車両は停車をせず、前方の車両に追突した。本人は全身打撲と胸骨骨折をした。前方の車両は完全に停車していた為、前方の車両に過失はないものと思われる。	18～99	50
3	15～16	高速道路を営業客先より会社方面へ運転走行中、並走車両との間で衝突事故が発生し緊急搬送された。	39～99	50
7	9～10	他店舗へ車両引取業務のために運転中、直進走行中に、右側道からトラックが割り込み、咄嗟に避けようと、左にハンドルを切ったが車両右側面後方に槽突され、街路樹にぶつかり、その衝撃で右半身、首を強く打ち、動けなくなり、救急搬送された。	55～49	30

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html